

受験番号

氏名

一

問一

A

ア

B

イ

問二

ア

問三

イ

問四

依田の、寧子の担当をはずされてもよい(仕事をやめる)という覚悟。

問五

エ

問六

1 母

2 不安

3 インターネット上

問七

ア

問八

1 自分の判断を依田が認めてくれた時の喜び

2 自分がよいと思うこと

問九

4

問十

ア

二

問一

I

エ

II

ア

問二

一

種身体的な経験

問三

「まず」が「序論」が「整然」と論証を進めてゆく書き方

「が」が「示され、整然」と論証を進めてゆく書き方

問四(1)

「論述の主体」が、自己変容のプロセスを経験する

から。

(2)

「まず」船首が

問五

「話を複雑にする読み」

問六

ウ

問七

「筆者は、時間が経つことで、少しずつ分からなくな

が、消されたことが分かるように、両者の対立

と考えているから。

問八

ア

×

イ

×

ウ

○

エ

○

オ

×

問九

A

服

す

B

変貌

C

潤沢

D

託

した

E

賢明

三

問一

エ

問二

a

のたもう

b

ゆえ

問三

按察使の大納言の御むすめ

問四

耳はさみ

問五

紫式部

ウ

清少納言

エ

問六

物事の本質を見ること

問七

1 対象をよく観察し考えることによる生まれ

てくる愛² 恐ろしげなるもの³ 考え深そう

4 生きもののはなしと見事に生きているのだから

5 いのちを大切に思う気持ちを持ち平

6 平安